

いきもの記

Vol.175 2026.3.24

2年5組 濱田 琉生
(科学研究部生物化学班・昆虫研究)

偉大なる生物教師 佐藤龍平先生の生態

皆さんは都立科学技術高校に10年間居座っている、とある生物教師を知っているだろうか。その名は2学年学年主任、科学研究部生物化学班顧問、佐藤龍平先生である。龍平先生をととても間近で見てきた私が、この偉大なる生物教師という「いきもの」について説明しようと思う。私が先生と出会ったのは2024年。1年2組の担任として出会った。その後色々あり西表島フィールドワーク (FW) に行き、そこで“真の佐藤龍平”に出会うことになる。生徒より楽しみ、生徒たちが寝静まった後に生き物探しに繰り出したり、見たい生き物を見た時の喜び様はまるで大きな少年だ。さらに先生は生徒に煽られると滑り台を滑ってくれたり、生物室で飛ばしたドローンを撃墜しようとしたり、ユーモアに溢れているところもある。

そんなユーモアに溢れる龍平先生には実はとても凄い面がある。カエル班が総文祭で全国優勝を果たし、その指導が評価されて教員として文部科学大臣賞を受賞したり、生物の専門雑誌に先生の発見が報分として掲載されたり、生き物の知識においては様々な生物好きがいる生物班でも肩を並べる人は誰1人いないだろう。本人は「全然知らない」と言っている癖に、ものすごい知識があるのだ。正直いつ覚えてるのか知りたい。

しかし、科学研究部の人たちは口を揃えている言葉がある。「龍平先生にお願い事をするなら3回は言え」と皆口々に言うのだ。実は龍平先生はとても忘れっぽいところがある。実際、私は令和6年度の東京都SSH発表会の時のポスターの添削を4~5回忘れられてとても焦った記憶がある。

そんな龍平先生の面白エピソードといえば、『トマトが食べれない』ということだろう。これは今年度の西表島FWの朝食の時、トマトが入っていたので、龍平先生に「食べたんですか?」と聞いたら「食べたよ」と返された。克服したんだ!と思って隣のM君の弁当を見ると、、、トマトの数が倍になっていのだ!!!これには全員で大爆笑したものだ。

他には、同じく西表島FWで生徒が寝静まった後(午前1時~2時)に1人で付近のジャングルに繰り出して昆虫観察をしていたのだ!!正直言って僕も行きなかった、、、。羨ましくて、一昨年も去年も、一緒に連れて行ってくれとお願いしているのに連れて行ってくれない、、、。そして生徒より圧倒的に睡眠時間が少ないというのに、生徒より元気なもの不思議なところだ。

そんな龍平先生に異名をつけるならば、『都科技のフェアブル』や『都科技のリンネ』だろう。かの有名なフェアブルも実は教師で、余暇に昆虫学を学んでいたと言われている。そんな色々な面がある龍平先生を私はとても尊敬している。この場でいつものお礼を述べさせて頂く。いつも本当にありがとうございます。また、このようなふざけた企画の許可および本企画のために写真を提供いただきありがとうございます。



生物室大掃除の日、ドローンを飛ばしてみたら、先生がふざけて撃墜しようとしていた。2025.12



表彰されてニコニコな先生
(文部科学大臣教職員表彰@東京大学安田講堂 2025.1.17)



西表島にあるヤマネコの滑り台を楽しそうに滑る先生 2025.7.23



西表島FWにて憧れのアイフィンガーガエルとツーショットを撮れてご満悦な先生 2025.7.22



同じく西表島FWにて川流れする先生
2025.7.23